

【教科】社会科（地理的分野）	【日時】 2月 6日（金）5校時	【生徒】 2年 2組 39名	【授業者】 横沢 剛
江戸川区立小松川中学校 研究発表公開授業		「誰ひとり取り残さない、生徒一人一人の学力向上を図る教育実践」	

【単元名】	学習過程	○主な学習活動・予想される生徒の気付きや反応	☆指導上の工夫
【単元目標】 近畿地方 (全 5 時間) 京都・奈良では歴史的景観を保全していくためにはどのような取り組みが行われるか考える。	導入 5 分	○京都の地図をみて気がついたことを書きだす。 ・気がついたことをグループで共有する。	☆はじめは1人で考え、その後4人組を作る。
次 学習内容（時数） ◎本時 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 環境に配慮した林業と漁業 5◎ 古都京都・奈良と歴史的景観の保全	展開 35 分	○なぜきれいに道路が碁盤の目のように区画されているか考える。 ・歴史的観点から、京都が重要な都市として整備されることに気づかせる。 ○現在はどう景観を保全している? 話し合い：京都の街並みにはどのような工夫があるのだろうか。 ・写真を見せて電柱や電線が地面の下にあることなどに気づかせる。 ・発展した一方でどのような事が問題となるか資料をスクリーンに映し、考えさせる。	☆4人組で授業を行い、相互で意見交換を行わせる。 ☆周囲との相談は常に行ってもよい。
【本時の目標】 (5 / 5 時) 京都・奈良では歴史的景観を保全していくためにはどのような取り組みが行われ、今後何が必要か自分の言葉で説明ができる。 【本時の評価】 京都の街並みの特徴に着目し、歴史的な背景を考える。（観察・プリント） 歴史的景観を保全するために今後必要な取り組みを説明する。（観察・プリント）	まとめ 10 分	○景観を維持する活動をする一方で、オーバーツーリズムなどの新たな課題解決について個人で調べる。	☆新たな問題の解決方法を調べ、プリントにまとめ次回話し合いと提出をする。